



2009年度自動認識システム大賞

申請テーマ

09年4月施行長期使用製品安全点検制度対応 使用者登録用葉書・ 保守製品銘板ラベル発行システム

技術分野：バーコード、2次元コード
申請会社：株式会社サトー
ユーザー名：株式会社長府製作所

システムの概要

『長期使用製品安全点検制度』の施行に伴い、
石油ガス機器協会がガイドラインを制定。

対象の9品目で過去に発生した事故等から定期点検制度の義務化により
各メーカーは設計標準期間を基に点検の実施が法令業務となった。

設置先登録の必要性和製品への特定保守製品表示義務が発生。

機器には設置先登録用の『所有者票』を同梱すること、
また機器には『点検時期』と『特定保守製品』であることを示すラベルの
貼付が必要となった。

固有の製造番号・製造年月などの可変情報を耐久性基材に
当社製プリンタで発行することにより本制度趣旨である
『一般消費者の安全と安心に貢献』するシステムである。



2009年度自動認識システム大賞申請

システムの特徴

- ・特定保守製品名
- ・製造年月
- ・製造番号
- ・設計標準使用期間
- ・点検期間(開始・終了)

といった可変情報を

「メーカー側登録用返信ハガキ」と「お客様控え所有者票」のいずれにも表示(印字)する必要があり、これを当社プリンタで一挙に発行可能。

縦長葉書2枚分の用紙の中間にミシン目を加工することで返信用登録葉書と所有者保管用の切り離しが可能。法令業務の目的を、製造者・所有者の双方で実現。

当社ラベルプリンタで発行することで、単枚でのカットが可能であり、製造番号をバーコード印字することで登録する所有者先の製品の製造番号の誤入力を回避し、正確な初期情報入力の実現が可能。

システムの効果

当社基材のアイベスト(厚紙160 μ m)によって、官製はがきと同等もしくはそれ以上の強度と耐性を実現。さらにローコスト。

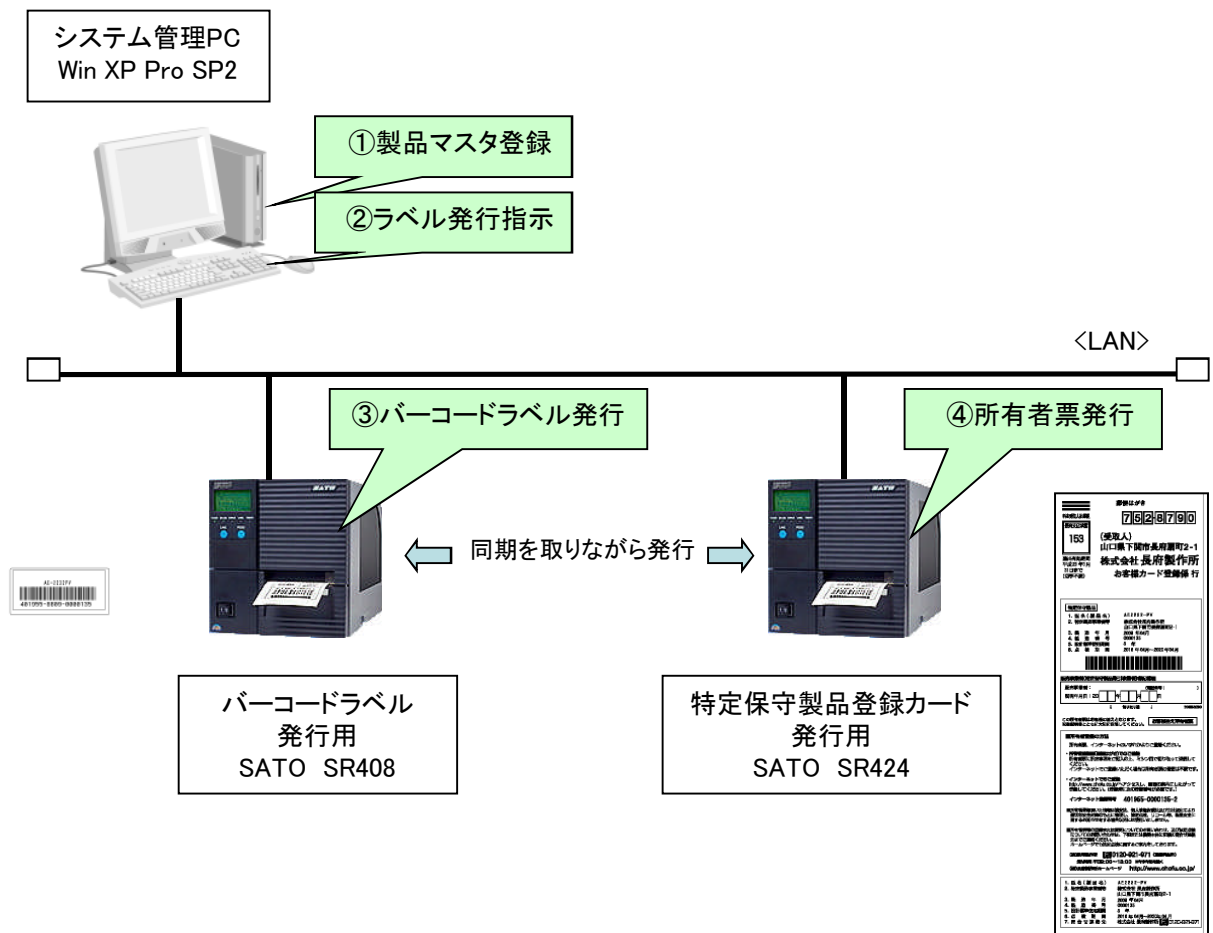
所有者票発行に関しては、印字面が全面白無地であり、当社プリンタによる発行の為、表記内容の変更などが生じた際にも版変更や在庫調整等の必要がなく、変化にフレキシブルに対応可能。

システムによる特定保守製品の判断と、自動の所有者票発行により、オペレータの作業負担を軽減。



2009年度自動認識システム大賞申請

システム全体図



本社工場(下関)、宇都宮工場にそれぞれ展開。

『所有者票・バーコードラベル(各部品および機器外装に貼付)発行システム』

同期を取りながら発行を実施。

SATO スキャントロニクスプリンタSR424-3 CT+LAN × 2台

SATO スキャントロニクスプリンタSR408-3 CT+LAN × 2台

ラベル巻取機 RWG500 × 2台